

## 第4章 イベントとコンベンション

### 1 札幌でのイベント開催状況

#### (1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。



回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第63回雪まつりでは、国内、海外の有名建築物や子供たちに人気のキャラクターなどの大雪氷像が「大通会場」に作られ、幅広い年齢層から関心を集めました。また第2会場の「つどーむ会場」は遊びをテーマとし、チューブスライダーや、北海道ならではの体験をテーマとした竹スキーなど、体験型の雪まつりとして好評を博しましたが、インフルエンザの大流行や大雪による交通機関への影響により、観客数は前回より15%減の205万人台の人出となりました。

(URL) <http://www.snowfes.com/>

#### 【第63回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成24年2月6日(月)～12日(日)〔7日間〕	
会 場	大 通 会 場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会式(大通西7丁目 2月6日)</li> <li>・ つどーむ会場オープニングセレモニー(つどーむ 2月6日)</li> <li>・ 国際雪像コンクール 16チーム(大通西11丁目)</li> <li>・ 市民雪像(大通小雪像98基、中雪像3基、つどーむ小雪像6基)</li> <li>・ スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月6日)</li> <li>・ ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施)</li> </ul>	
雪 氷 像 数	228基(大雪像5基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪 輸 送 量	5tトラックで約6,534台(1月7日開始)	

#### 【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)	第61回 (平成22年)	第62回 (平成23年)	第63回 (平成24年)
雪像数(基)	308	311	304	338	307	290	286	248	254	228
観客数 (千人)	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159	2,080	2,433	2,416	2,054

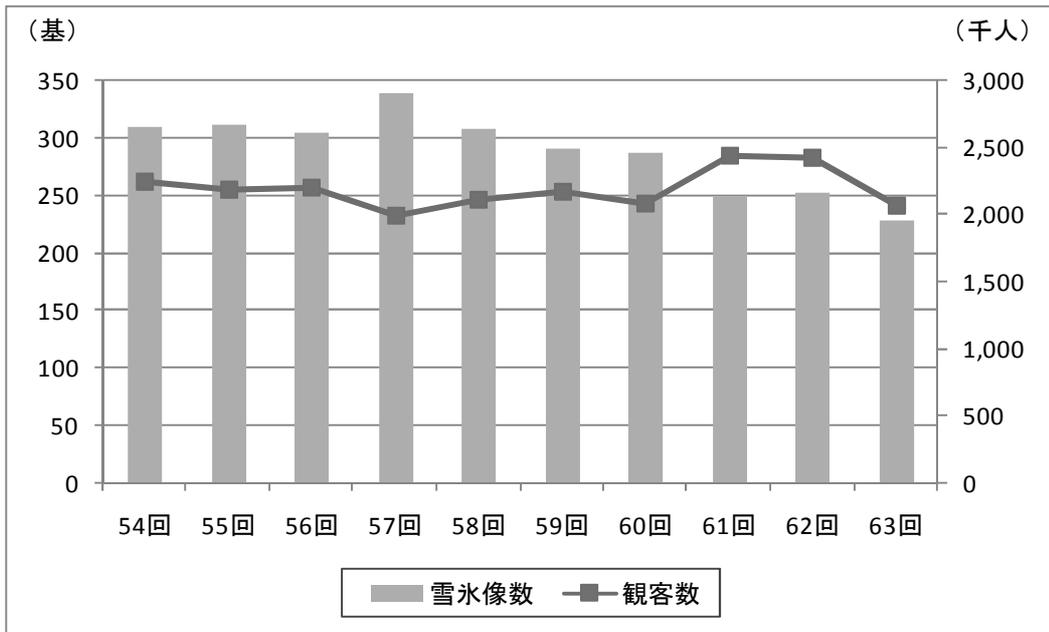


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

## (2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。

平成24年6月の第21回のYOSAKOIソーラン祭りは、「市民の祭り」をテーマに開催し、昨年に引き続き「一般公募審査員」と「市民ボランティア」を募集しました。審査員には、一次審査からファイナル審査まで、全ての審査を市民審査員が行いました。

祭り最終日のファイナルステージでは、各賞受賞チームの演舞に加えファイナル審査が行われ、今年もっとも感動と元気を与えてくれたチームにYOSAKOIソーラン大賞が授与されました。

期間中、時折雨に降られることがありましたが、会場を訪れた人の数は198万2,500人にのびりました。

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

【第20・21回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要】

	第20回（平成23年度）	第21回（平成24年度）
期 間	平成23年6月8日(水)～12日(日)	平成24年6月6日(水)～10日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内20会場	大通公園を始めとする市内19会場
参 加 者	延べ28,000人 284チーム	延べ27,000人 271チーム
うち市内	75チーム	60チーム
道内	81チーム	77チーム
その他	128チーム	134チーム
観 客 数	200万3,200人	198万2,500人

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去10年）】

	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)	第16回 (19年度)	第17回 (20年度)	第18回 (21年度)	第19回 (22年度)	第20回 (23年度)	第21回 (24年度)
参加チーム数	330	333	334	350	341	330	316	304	284	271
参加者(百人)	440	430	430	450	430	430	330	300	280	270
観客数(万人)	202	208	214	186	216	202	179	218	200	198

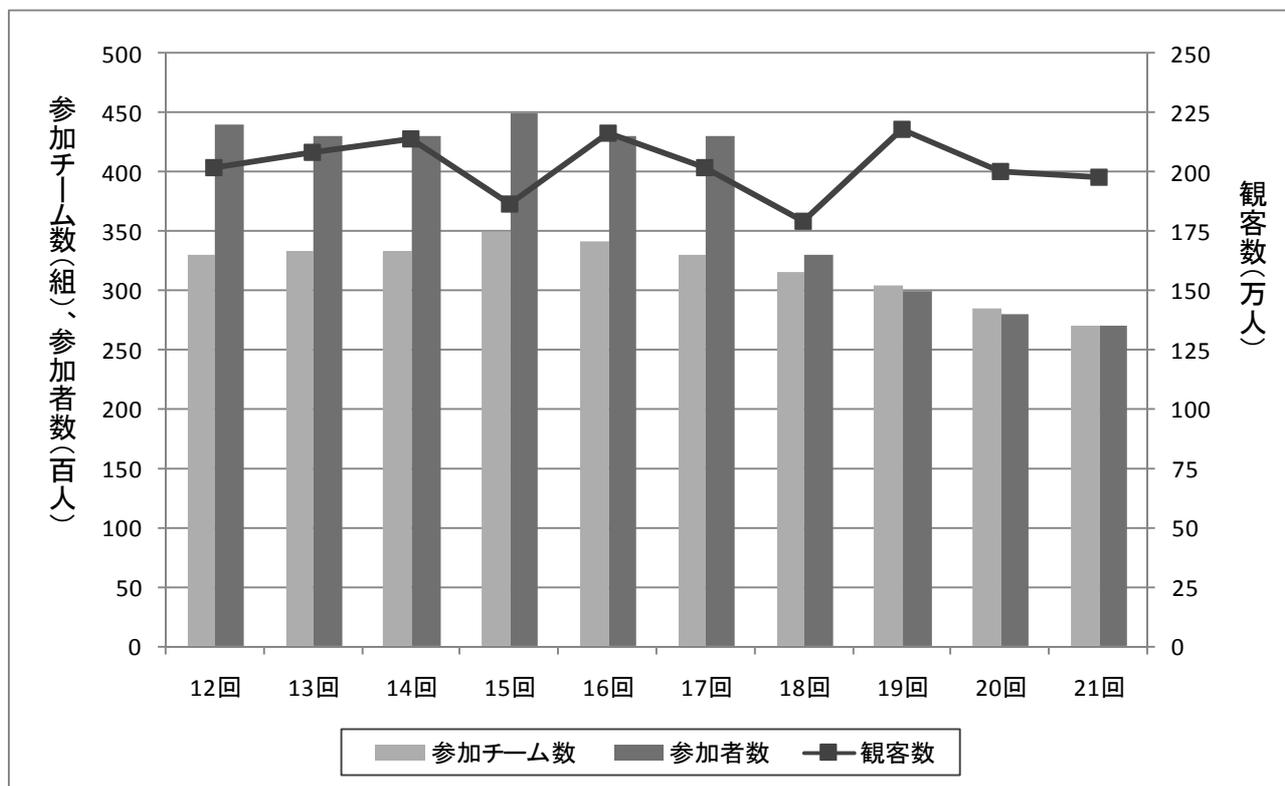


図 4-2 YOSAKOI ソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

### (3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りなど、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです。



まつりの前半には、メイン会場の「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sapporo-natsu.com/>

#### 【第 59 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 24 年 7 月 21 日（土）～8 月 20 日（月）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西 4～8、10・11 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り (西 2 丁目)	8 月 14 日～20 日
	「仮装コンクール」(西 2・3 丁目)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 5・6 丁目)	8 月 18 日～20 日
狸 小 路	第 59 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
すすきの	第 48 回すすきの祭り	8 月 2 日～4 日

#### 【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)	第52回 (平成17年)	第53回 (平成18年)	第54回 (平成19年)	第55回 (平成20年)	第56回 (平成21年)	第57回 (平成22年)	第58回 (平成23年)	第59回 (平成24年)
ビール消費量(kℓ)	256	442	428	575	459	539	520	416	474	457
盆踊り参加者(千人)	173	149	84	87	101	108	91	115	103	118
平均最高気温(℃)	23.3	28.2	27.0	27.9	26.4	26.4	25.8	27.8	27.4	27.2

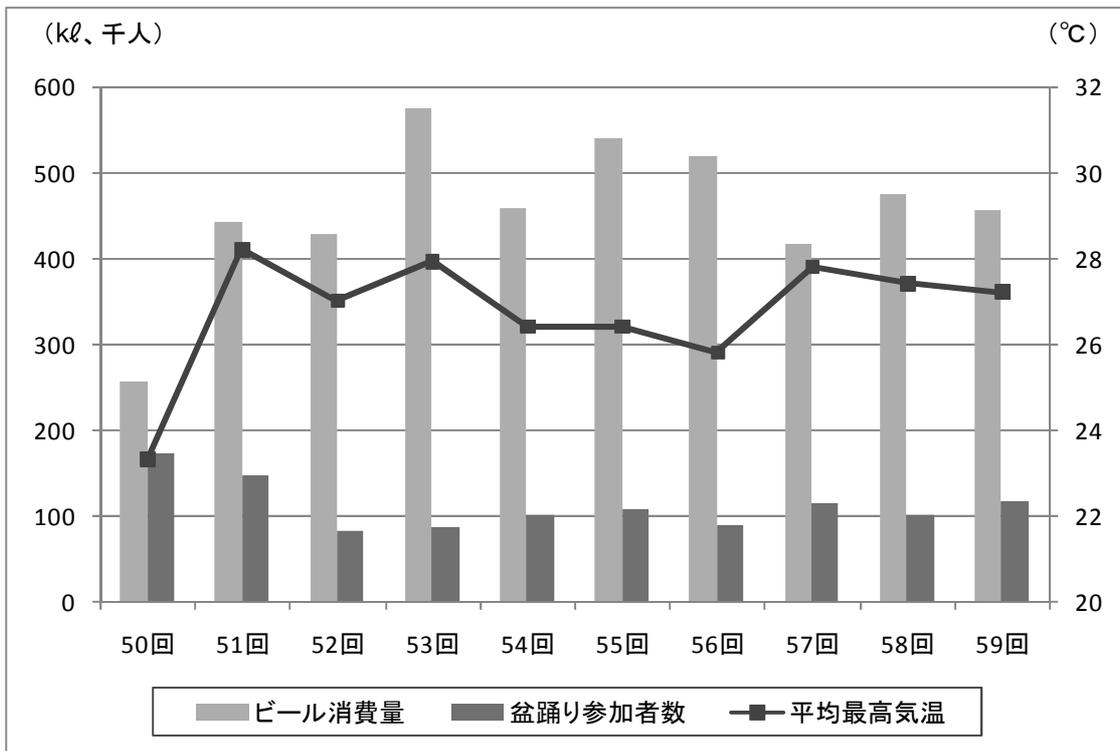


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

#### (4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの解放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、平成 24 年で 54 回目を迎えました。小・中・高校生による吹奏楽・合唱などが行われる「ライラック音楽祭」や茶道の各流派による「野だて」などの文化行事が多数行われたほか、道内 13 のワイナリーの個性豊かなワインと道産食材の料理を楽しむワインガーデンも人気を博しました。

また、第 2 会場として、白石区の川下公園でも、ライラックの森を公園職員が案内するライラックツアーやライラックをテーマとしたフォトコンテストなどの各種イベントを開催しました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 53・54 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 53 回（平成 23 年度）		第 54 回（平成 24 年度）	
期 間	平成 23 年 5 月 25 日（水） ～29 日（日）	6 月 4 日（土） 6 月 5 日（日）	平成 24 年 5 月 23 日（水） ～27 日（日）	6 月 2 日（土） 6 月 3 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
行事等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			
観客数	418,500 人		420,400 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



また、昭和 49 年からは、札幌地下街を会場とし、全国でも例のない屋内型の菊まつりとして、札幌市の秋の恒例行事として内外に定着しました。さらに、平成 23 年より、様々なイベントが可能な札幌駅前通地下広場に主要会場を移し、菊花総合花壇の創設や、伝統的な芸術文化行事による和を基調とした空間演出などを併せて実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

【2011 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 23 年 10 月 31 日（月）～11 月 3 日（木・祝）〔4 日間〕
会 場	札幌駅前通地下広場（北 1 条～北 4 条の交差点広場、憩いの空間） さっぽろ地下街オーロラタウン（オーロラプラザ）
行事等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
出展数	807 点

## (6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、40 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通りが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.white-illumination.jp/>

### 【第 31 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会 期	大通公園会場 [大通西 1～8 丁目]	平成 23 年 11 月 25 日(金)～ 平成 23 年 12 月 25 日(日) 31 日間
	駅前通り会場 [北 4 条～南 4 条]	平成 23 年 11 月 25 日(金)～ 平成 24 年 2 月 12 日(日) 80 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1～西 3]	平成 23 年 11 月 25 日(金)～ 平成 24 年 2 月 12 日(日) 80 日間
点灯時間	16 時 30 分～22 時 00 分 (12 月 23 日～25 日は 24 時まで)	
総電球数	40 万個	
行 事 等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 平成 23 年 11 月 25 日(金)～12 月 24 日(土)	

## (7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年度からスタートしました。

道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみなどの特選品が並び、多くの来場者の方々に秋の味覚をお楽しみいただきました。

また、観光客や来場者に札幌市内を周遊観光していただくことを目的に、創成川東エリア、円山エリアおよびすすきのエリアとの連携を実施し、さらに各エリアへの交通手段としてベロタクシーやポロクルとも連携を行いました。



(URL) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

【さっぽろオータムフェスト 2012 の開催概要】

期 間	平成 24 年 9 月 14 日（金）～30 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園 4 丁目～8 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニングセレモニー（6 丁目野外ステージ 9 月 14 日）</li> <li>・ ウェルカムゲート（4 丁目）</li> <li>・ 北海道の新・ご当地グルメ&amp;ラーメン祭り 2012（5 丁目）</li> <li>・ あおぞら×ほしぞら 大通バザールアミーゴ！（6 丁目）</li> <li>・ 大通公園 7 丁目 BAR（7 丁目）</li> <li>・ 大通ふるさと市場（8 丁目）</li> </ul>

【来場者数の推移】

	第1回 (平成20年)	第2回 (平成21年)	第3回 (平成22年)	第4回 (平成23年)
来場者数 (千人)	724	1,304	1,115	1,306

## 2 札幌でのコンベンション開催状況

### (1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773
20年度	1,059	111.2	109	183	767
21年度	987	93.2	87	104	796
22年度	1,050	106.4	83	164	803

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

### (2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成23年度）

	利用日(日)	稼働率(%)
大ホール	268	77.5
特別会議場	158	45.7
中ホール	246	71.1
小ホール	239	69.1
会議室(15室)	249	72.0

総来場者数	402,096人
-------	----------

(注) 稼働率は、営業日数346日で計算。

## 参 考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2008年（平成20年）			2009年（平成21年）			2010年（平成22年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	480	1	東京(23区)	497	1	東京(23区)	491
2	横浜	184	2	福岡	206	2	福岡	216
3	福岡	172	3	横浜	179	3	横浜	174
4	京都	171	4	京都	164	4	京都	155
5	名古屋	130	5	名古屋	124	5	名古屋	122
6	神戸	94	6	大阪	94	6	神戸	91
7	つくば地区	80	7	札幌	82	7	札幌	86
8	大阪	77	8	神戸	76	8	仙台	72
8	札幌	77	9	つくば地区	74	9	大阪	69
10	千葉	67	10	千里地区	71	9	つくば地区	69

(注) 「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

<資料> 日本政府観光局（JNTO）国際会議統計